



令和元年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年7月12日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7065 URL https://www.upr-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒田 義矢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 石村 浩 TEL 03 (3593) 1728
 四半期報告書提出予定日 令和元年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年8月期第3四半期の連結業績（平成30年9月1日～令和元年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年8月期第3四半期	8,655	—	702	—	835	—	462	—
30年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 元年8月期第3四半期 465百万円 (—%) 30年8月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年8月期第3四半期	402.90	—
30年8月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成30年8月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成30年8月期第3四半期の数値及び令和元年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成31年1月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成31年2月28日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
元年8月期第3四半期	15,794		4,583		28.9	
30年8月期	14,341		4,120		28.6	

(参考) 自己資本 元年8月期第3四半期 4,563百万円 30年8月期 4,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期	—	—	—	50.00	50.00
元年8月期	—	—	—		
元年8月期（予想）				35.00	35.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2. 当社は、平成31年1月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成31年2月28日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。平成30年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。
3. 配当予想の修正については、本日（令和元年7月12日）公表いたしました「令和元年8月期の業績予想および配当予想の修正について」をご確認ください。

3. 令和元年8月期の連結業績予想（平成30年9月1日～令和元年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,587	11.8	706	11.1	943	17.4	505	△10.9	409.35

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 当社は、平成31年1月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成31年2月28日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 連結業績予想の修正については、本日（令和元年7月12日）公表いたしました「令和元年8月期の業績予想および配当予想の修正について」をご確認ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	元年8月期3Q	1,532,000株	30年8月期	1,532,000株
② 期末自己株式数	元年8月期3Q	384,000株	30年8月期	384,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	元年8月期3Q	1,148,000株	30年8月期3Q	1,148,000株

（注）当社は、平成31年1月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成31年2月28日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、企業業績は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税を控え景気動向は下方局面へ進むとともに、米中の通商問題等による貿易摩擦や海外情勢は不安定であり、依然として不透明な状況が続いています。

物流業界においては、トラックドライバーの高齢化や人手不足が更に深刻化する中、平成30年7月に起きた西日本豪雨災害によって鉄道の貨物輸送網が遮断され、トラック輸送が急激に拡大しました。そのため運送会社がバラ積み敬遠パレット輸送が急拡大したことに加え、令和元年10月の消費税増税前の駆け込み需要へ対応するために各社が在庫を積み増す中、レンタルパレットの需要は増加傾向が続いております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,655百万円、営業利益は702百万円、経常利益は835百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は462百万円となりました。

各セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

(物流事業)

各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバー不足、人件費の高騰により更なる効率化・省力化が求められており、パレット輸送への関心は高まっております。家庭紙パレットの共同利用サービスが軌道に乗ったことから、他業種からも引合いが増加しております。またアシストスーツ事業では、平成30年9月に発売を開始したサポートジャケット（Bb+FIT）の販売が順調に推移しており、前年から大幅な増加で推移しております。

以上の結果、物流事業では、売上高7,827百万円、セグメント利益1,427百万円となりました。

(コネクティッド事業)

IoTサービスでは、位置情報ソリューション及び遠隔監視ソリューションの販売案件の受注が増加、ビークルソリューションサービスでは、カーシェアリングシステムのレンタル及び販売が、顧客の増車計画に伴い当初想定を上回るペースで進捗いたしました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高828百万円、セグメント利益123百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が614百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,970百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,066百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は15,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,452百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,830百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2,000百万円、1年内返済予定の長期借入金が894百万円増加したことによるものであります。また固定負債は4,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,840百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,897百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ989百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ462百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年8月期の業績予想につきましては、第3四半期までの業績動向を踏まえまして、令和元年6月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（令和元年7月12日）公表いたしました「令和元年8月期の業績予想および配当予想の修正について」をご確認ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,054,563	2,439,901
受取手形及び売掛金	1,523,416	1,672,967
電子記録債権	164,127	89,427
商品	277,805	210,876
原材料及び貯蔵品	8,449	13,402
その他	218,238	305,922
貸倒引当金	△7,595	△11,259
流動資産合計	5,239,004	4,721,238
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	5,398,841	7,578,943
その他	2,376,019	2,262,109
有形固定資産合計	7,774,860	9,841,052
無形固定資産	417,518	354,559
投資その他の資産		
その他	922,527	889,347
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	910,577	877,397
固定資産合計	9,102,957	11,073,010
資産合計	14,341,961	15,794,248

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,796,028	2,121,626
短期借入金	—	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,269,045	2,163,652
未払法人税等	448,945	159,033
賞与引当金	236,619	265,798
役員賞与引当金	58,888	38,374
その他	311,670	203,185
流動負債合計	4,121,196	6,951,669
固定負債		
長期借入金	5,554,494	3,656,799
役員退職慰労引当金	385,258	422,745
退職給付に係る負債	147,010	166,294
資産除去債務	13,291	13,319
固定負債合計	6,100,054	4,259,158
負債合計	10,221,251	11,210,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
利益剰余金	4,753,950	5,213,605
自己株式	△780,811	△780,811
株主資本合計	4,069,139	4,528,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,962	46,381
為替換算調整勘定	△12,339	△11,703
その他の包括利益累計額合計	31,622	34,678
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	4,120,710	4,583,420
負債純資産合計	14,341,961	15,794,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至令和元年5月31日)
売上高	8,655,951
売上原価	5,507,506
売上総利益	3,148,444
販売費及び一般管理費	2,446,292
営業利益	702,151
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,598
受取補償金	138,714
その他	27,685
営業外収益合計	167,998
営業外費用	
支払利息	24,698
その他	9,600
営業外費用合計	34,298
経常利益	835,851
特別利益	
固定資産売却益	333
特別利益合計	333
特別損失	
固定資産除却損	3,533
減損損失	70,330
その他	7,941
特別損失合計	81,804
税金等調整前四半期純利益	754,380
法人税、住民税及び事業税	264,246
法人税等調整額	27,608
法人税等合計	291,855
四半期純利益	462,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年9月1日 至 令和元年5月31日)
四半期純利益	462,525
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,419
為替換算調整勘定	635
その他の包括利益合計	3,055
四半期包括利益	465,580
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	465,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年9月1日 至 令和元年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,827,576	828,374	8,655,951	—	8,655,951
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,827,576	828,374	8,655,951	—	8,655,951
セグメント利益	1,427,118	123,045	1,550,163	△714,311	835,851

(注) 1. セグメント利益の調整額△714,311千円には、セグメント間取引消去6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△714,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「物流事業」セグメントにおいて2,174千円、「コネクティッド事業」セグメントにおいて68,155千円の減損損失を計上しております。